

中国語の描写性を豊かにする文法項目*

俞 稔 生**

The Grammatical Items that Improve the Descriptive
Abilities in the Chinese Language

Rensheng Yu

キーワード:

“个”の用法、形容詞の描写機能、借用動量詞、
量詞と形容詞との共起

概要:

中国語文法において中級以上として扱われる項目、
或いは文法書に取りあげられていない項目の中から、
形容詞を中心に、描写性を豊かにする文法項目を
選び、必要な例文を挙げて解説する。まず、判断
詞“是”の用い方で見逃されている「是+“个”」
構文を取りあげる。この構文にも形容詞が名詞を
限定して連体修飾語となる構造がある。つぎに、
形容詞の描写機能を状態形容詞の文法的特徴を中
心に考察し、また、形容詞の重ね型が文中におい
て連体修飾語、述語、連用修飾語、補語になる場
合のそれぞれの役割について解説する。量詞では
主に描写性の高い借用動量詞を取りあげ、最後に、
特に描写性が強いと考えられる量詞と形容詞との
共起について検討する。

はじめに

大学で中国語を専攻した学生でも、残念ながら
自分の意志を伝えるのが精一杯で、表現能力は乏
しいものである。「一通りの文法」を理解したに
もかわらず、表現豊かに会話ができない原因は
何であろうか。語彙が不足しているとか、留学経
験がないとか考えられるが、それらは学生本人
の努力とか現地での体験であり、大学における授
業とはさほど関係がない。中国語を「国語」の授
業のように小学校から習っていけば表現力も身に
付くのだろうが、大学でのカリキュラムではそん
な悠長なことは言っておれない。

時間に限りがある以上、文法に活路を求めるし
かないのである。豊かな表現力をマスターするた
めには、描写性を豊かにする文法を教授しなけれ

ばならないが、残念ながら「一通りの文法」には
これらの項目は含まれていない。小論では形容詞
とそれに関連する文法項目にスポットを当て、描
写性を豊かにする試みを探っていく。

1. 是个～の構文

是 (一) 个～の構文は「主語に対して何らか
の具体的な説明をする」ときに用いられる。

(1) 他是学生。(彼は学生です。)

(2) 他是个很认真的学生。(彼はとても真面
目な学生です。)

中国語を習ったことがある人なら、(1)の作
文は簡単だが、(2)に“个”を入れることがで
きる人は少ないものである。

後半部の很认真“的”学生は、形容詞の前に
程度副詞を、さらに後ろに“的”を伴って、名
詞の学生を修飾している構造となっている。形
容詞については、第2章で詳しく解説する。

この構文は、主語によって当然ながら量詞も
変わってくる。

(3) 这是本关于近代日中关系的论著。

(これは近代日中関係に関する著作です。)

(4) 万景峰号是艘来往于朝鲜和日本的客货两用
船。

(マンギョンボン号は北朝鮮と日本の間を
行き来する貨客船です。)

是 (一) 个～の構文は後に続く名詞を具体的
に説明するので、描写性を豊かにする文法項目
の一つとしてまず挙げておきたい。

2. 形容詞の描写機能

形容詞はその形や働きの面から、大きく二つに
分類され、表す意味や文法の用法などが相当異な
っている。この章では、まず二種類の形容詞を説

* Received December 18, 2006

** 長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部 国際交流学科, Faculty of Contemporary Social Studies, Nagasaki
Wesleyan University, 1057 Eida, Isahaya, Nagasaki 854-0081, Japan

明した後、形容詞が「連体修飾語」、「述語」、「連用修飾語」、「補語」となる場合の文法的な働きを解説し、形容詞の描写的な表現機能を検証していく。

2-1. 性質形容詞と状態形容詞

性質形容詞は人や事物の性質や属性を表すもので、単純な形をしている。

①単音節形容詞 → 長、短、高、多、对、真、假、错、矮（低い）…

②2音節形容詞 → 干浄（清潔な）、漂亮（きれい）、伟大（偉大な）、庄严（莊嚴である）、清楚（はっきりした）…

状態形容詞は人や事物を生き生きと描写するもので、3種類の形がある。

①特殊2音節形容詞

→ 飞快（飛ぶように速い→非常に速い）、
笔直（筆のように真っ直ぐ→真っ直ぐな）、
噴香（鼻をつくようなにおい→においがきつい）、
漆黑（漆のように黒い→真っ暗な、真っ黒な）、
滾热（沸騰したように熱い→非常に熱い）、
鲜红（鮮やかに赤い→真っ赤な）…

②A B B型形容詞

→ 黑洞洞（真っ黒な）、冷清清（冷やかな）、
亮晶晶（きらきらとした）、暖洋洋（ぽかぽかな）、
干巴巴（ひからびた）、沉甸甸（ずっしりと重い）…

③A “里” A B型形容詞 → 胡里胡涂（愚かな）、
肮里肮脏（汚い）… これには“里”以外にも“不／古”などの挿入や変形型も含める。
→ 灰不溜丢（くすんだ）、黑古隆咚（真っ暗な）…

2-2. 性質形容詞を状態形容詞化する

性質形容詞は何らかの手を加えて状態形容詞化することにより、修飾語、述語、補語になることができる。

2-2-1.

単音節形容詞を重ね型にする。この場合、第2音節の声調は第一声に変調し、語尾を儿化することが多い。

好好儿（きちんと）、小小儿（ちっちな）…

2-2-2.

2音節形容詞を重ね型にする。この場合、A A B B型となり、ストレスは最後の音節にある。
清清楚楚（はっきりとした）、高高兴兴（うれしそうな）…

2-2-3.

多くの2音節形容詞は前に程度副詞を、後ろに“的”を伴って、名詞を修飾できるようになる。単音節形容詞についてはそのまま直接名詞を修飾する組み合わせがあるが、今回は解説を割愛する。また、単音節形容詞よりは2音節形容詞のほうが描写性がやや高い。

很干浄“的”、非常漂亮“的”…

2-3. 本来から状態形容詞であるものの文法的特徴

状態形容詞はある性質、例えば「白い」、「熱い」といった性質が存在していることを前提に、その性質がどの程度のものなのか、どのようなのかをさらに詳しく描写するものである。したがって、基本的性質に対する肯定的な認定の気持ちがあり、“不”で否定されることもなく、程度副詞の修飾も受けない。

2-3-1.

①特殊2音節形容詞は雪白（雪のように白い→真っ白な）、冰凉（氷のように冷たい→非常に冷たい）などと、すべて前の語が後の語の「修飾語」という構成になっている。描写性は非常に高い。

雪白的衬衫（真っ白いシャツ）

×不雪白的衬衫

重ね型になる場合、A B A B型となり、通常2つめの音節は「轻声」で発音される。

雪白雪白、冰凉冰凉…

2-3-2.

②A B B型形容詞は热乎乎（ほかほかした）、红通通（真っ赤な）などと、形容詞Aに接尾語B Bがついたもので、接尾語B Bの声調は第一声に変調する。「中国語の擬態語」ともいわれ、小説の中などでよく用いられる。

2-3-3.

③A里A B型形容詞 → 古里古怪（風変わりな）のように、この型のものは、文のどの位置に用いられても、ほとんどが「憎悪・軽視」などのマイナスイメージを表す。

2-4. 形容詞が「連体修飾語」になる場合

2-2-3. で説明したように、多くの性質形容詞は前に程度副詞を、後ろに“的”を伴って、いわば状態形容詞化することにより、名詞（中心語）を修飾できる。

很干浄“的”屋子（きれいな部屋）、非常漂亮“的”花（とても美しい花）…

また、2—3.のように、本来から状態形容詞であるものは名詞（中心語）を自由に修飾できるが、程度副詞の修飾は受けない。

雪白“的”衬衫（真っ白いシャツ）

×很雪白的衬衫

热乎乎“的”包子（ほかほかの肉まん）

2—5. 形容詞の重ね型が「連体修飾語」や「述語」になる場合

形容詞の重ね型が「連体修飾語」や「述語」になる場合は、描写の働きが強まり、同時に程度が「軽微」であることを表し、往々にして話し手の「好感」の意味合いを含む。「述語」になる場合は文末に語気助詞“的”が必要。

2—5—1. 形容詞の重ね型が「連体修飾語」になる場合

(1) 这孩子弯弯的眉毛，大大的眼，红红的嘴唇赛樱桃。

（その子はクッキリした眉にパッチリした眼、紅の唇はサクランボのよう。）

(2) 她有长长的眉，高高的鼻子，小小的嘴。

（彼女は眉はスラリと長く、鼻は高く、口は小ぢんまりしている。）

二つの例文のように、形容詞の重ね型が「連体修飾語」になる場合は、単独ではなく、「羅列」されるのが普通であり、「名詞述語文」の述語にもなれる。

また、重ね型の十名詞フレーズは2段構えの「描写機能」を有していると見なすことができる。すなわち、“大大的”が中心語の“眼”を「描写」しており、更に“大大的眼”というフレーズ全体が“这孩子”を「描写」していると捉えることができる。

(3) 他那朴朴素素的衣着，实实在在的态度，给人留下了很好的印象。

（彼の地味な服装、しっかりした態度は皆に良い印象を与えた。）

2—5—2. 形容詞の重ね型が「述語」になる場合

(1) 姑娘的脸红红的。

（その娘の顔はほんのりと赤みがさしている。）

(2) 那个女孩儿眼睛大大的，像个洋娃娃。

（その女の子は目がパッチリとしていて、お人形さんのようだ。）

形容詞の重ね型が「述語」になる場合は、例文でわかるように、極端に「赤い」、「大きい」

とはならず、「好ましい、可愛い」ことを表している。

(3) 屋里乱烘烘的。

（部屋の中がガヤガヤとしている。）

(4) 那个人傻了叭叽的。

（あの人はボサーッとしている。）

(3)、(4)は形容詞の重ね型ではなく、A B型、A里A B型であるが、これらもそのまま「述語」になれる。

2—6. 形容詞の重ね型が「連用修飾語」や「補語」になる場合

形容詞の重ね型が「連用修飾語」や「補語」になる場合は、動作行為や性状などの程度が「甚だしい」ことを表す。

2—6—1. 形容詞の重ね型が「連用修飾語」になる場合

(1) 你要细细地画下来。

（非常に詳しく描いておかなければならない。）

(2) 今天放假咱们痛痛快快地玩儿一天吧。

（きょうは休みだから一日思い切り遊ぼう。）

(3) 小喜亲亲热热地问长问短。

（小喜は大変親しげにあれやこれやと尋ねた。）

(4) 学生们规规矩矩地坐在那里，一动也不动。

（生徒達はきちんとおとなしくそこに座っていて、身じろぎもしなかった。）

「連用修飾語」になる場合は普通“地”が必要となる。

2—6—2. 形容詞の重ね型が「補語」になる場合

(1) 他把帽子举得高高的。

（彼は帽子を高々と差し上げた。）

(2) 孩子们穿得整整齐齐的。

（子ども達はきちんとした身なりをしている。）

(3) 你看这是白纸黑字写得清清楚楚的。

（ほらこの通りはっきりと書いてあるじゃないか。）

(4) 饭做得香喷喷的。

（ごはんはプーンとおいしそうにできている。）

このように、「補語」がある場合、文末に語気助詞“的”が必要となる。

(5) 她的脸涨得通红。

（彼女の顔が真っ赤になった。）

特殊2音節形容詞は単独で様態補語になることができる。

2—6—3. 形容詞の重ね型における「連用修飾語」と「(様態)補語」の互換性について

史彤嵐(注1)は、目的語を描写する働きのある、形容詞の重ね型を持つ「連用修飾語」の構文は、形容詞の重ね型を持つ「(様態)補語」の構文にほぼ言い換えることができる、と述べている。

- (1) 他 高高 地 举起酒杯, ~
 ⇨ 他把酒杯举得 高高的。
 (彼はコップを高くあげた。)
- (2) 她 酃酃 地 沏了一杯茶。
 ⇨ 她把茶沏得 酃酃 的。
 (彼女はお茶を濃くいれた。)
- (3) 他 圆圆 地 画了一个圈。
 ⇨ 他把圈儿画得 圆圆的。
 (彼は円をまん丸く描いた。)

双方のニュアンスには違いがあり、左の列は動作主である主語の描写に重点があり、右の列は話し手から見た主語の描写といえる。

3. 量詞

量詞は事物の数量単位、或いは動作に関連した数量単位を表す。名量詞と動量詞に大別されるが、それぞれ専用量詞と借用量詞に分けられる。

入門・初級段階では専用量詞は一通り学習するが、借用量詞は取りあげられることが少ない。しかし、借用量詞は専用量詞より描写性が高いため、本章では借用量詞を中心に解説していく。

3—1. 借用名量詞

いくつかの名詞(多くは容器を指すもの)は、臨時に量詞として使われ、それらを借用量(名)詞と呼ぶ。

一杯水(コップ一杯の水)、两壶酒(徳利二本の酒)、一桌菜(一卓分の料理)、一盆花(ひと鉢の花)、三车货(車三台の品物)、一身新衣服(体にまとった新しい洋服一式)...

借用量(名)詞は専用(名)量詞と同じように、学習者にとって、分かりやすいものである。

3—2. “一”の派生的用法

“一”の後にいくつかの名詞を借用量詞的につなげて、「いっぱい」、「満ちた」、「全部の、全体の」という意味を表し、描写性を持たせることができる。

一手泥(手いっぱいについた泥)、一屋子人(部屋いっぱいの人)、一脸汗(顔じゅうの汗)、一身汗(全身汗びっしょり)、一肚子(的)坏主意(腹いっぱいの悪巧み)...

これらの用法は大学2年次までの中国語では学習されることは少なく、学習者にとって理解しにくいものである。

以下に例文を挙げる。

- (1) 他 跑得 一头汗。
 (彼は走って顔じゅう汗だらけになった。)
- (2) 他 弄了一身土。
 (彼は体じゅう泥だらけになった。)
- (3) 一楼的人都出来了。
 (建物の中にいる全員が出て来た。)
- (4) 一路上车马络绎不绝。
 (道中ずっと車や馬が切れ目なく続いた。)

3—3. 借用動量詞

動作・行為を遂行するための道具及び人体の四肢器官の名称は、借用して動量詞とすることができる。これを借用動量詞と呼ぶ。借用動量詞を用いた文は専用動量詞を用いた文より描写性が高い。

砍了一斧子(斧で一切りした)、切了一刀(刃物で一切りした)、放了一枪(銃をバーンと一発射った)、看了一眼(ちらっと一目見た)...

目的語の位置は、専用動量詞が代名詞を目的語にとる場合と同じで、動詞の後ろ、借用動量詞の前となり、注意を要する。

- (1) 蛇咬了农夫一口。
 (蛇は農夫にガブリとかみついた。)
- (2) 他 狠狠地 踢了狗两脚。
 (彼はこっぴどく犬を2、3回蹴った。)
- (3) 我 告诉她一声。
 (私が彼女に一声かけます。)
- (4) 我 打了他一拳。
 (私は彼に一発げんこつをくらわせた。)
- (5) 你 不尝一口, 怎么知道味道?
 (一口味わってもみないで、どうして味が分かるのか。)

4. 量詞と形容詞の共起について

中国語では、量詞と名詞或いは動詞との共起だけでなく、さらに形容詞との共起も存在する。

4—1. 「数詞+形容詞+量詞」構造

「数詞+形容詞+量詞」構造の機能は、名詞を限定して連体修飾語となる。一般的には、数詞と名量詞との間には形容詞を割り込ませることはできない。

× 一新件衣服(一着の新しい服)→一件新衣服
 しかし、以下の場合には形容詞を数詞と名量詞

との間にはさむことができる。

- (1) 個体量詞の後の名詞を表す物が「さらに分割可能なもの」であれば、数詞と量詞の間に、“大”“小”という二つの形容詞をはさむことができる。

三大块蛋糕(大切りのカステラ三つ)、五大张纸(大きな紙五枚…)

- (2) 2以上の不定数を表す集合量詞も、ほとんどがその前に“大”“小”という二つの形容詞をはさむことができる。

一小批货(少なめの一まとまりの品物)、一大群人(一群をなした人)…

- (3) “厚”“薄”“长”など物体の形状を描写する形容詞は、時にいくつかの名詞の前に用いることができる。

三厚册书(ぶ厚い三冊の本)、一长排桌子(長い一列の机)…

- (4) 借用量詞は、元来名詞であるから、通常その前に形容詞の修飾語を用いることができる。

一满壶酒(徳利いっぱい酒)、两大锅汤(大鍋二はいのスープ)…

4-2. 「数詞+量詞+形容詞」構造

井出(注2)は、「数詞+量詞+形容詞」構造は、形容詞が明確な数量を持つ具体的な概念として見なされにくいと、その存在が確認されていても文法には一項目として取りあげられていない。口語ではかなり固定された表現しか使用できないが、小説など書面語ではよく目にする、と述べている。

この構造は描写性の強い表現に多く用いられる。

- (1) 外面一片雪白，…

(外は一面真っ白で、…)

- (2) 打开门，客厅里一团漆黑。

(ドアを開けると、客間中真っ黒であった。)

例文(1)、(2)の末尾は、“雪白”、“漆黑”と特殊2音節形容詞が活躍しているのも注目値する。

- (3) 他苍白的脸上泛起一丝微红，…

(彼は青白い顔にほんのり薄紅色を浮かべて、…)

なお、量詞は物の形状的特徴をとらえているため、“片”は面的な広がりを表し、“丝”は「かすかさ」を表している。

おわりに

描写性を豊かにする文法項目ということで、取りあげたものが「是+“个”」、形容詞、量詞と個別であったものが、それぞれ関連し合い、最後の章で特に描写性が強い「数詞+量詞+形容詞」構造の型までに至ったのは、ある意味、必然であったように思われる。形容詞の描写性に関しては、視覚描写が圧倒的に多いはずだが、聴覚・味覚などの描写もある。まだまだ多くの項目を探るとともに、これらの事に対しても合わせて検証する必要がある。

注

- (1) 史彤嵐2005.

「形容詞の重ね型が様態補語や状語となる場合」

『中国語学252』:184頁、195頁。日本中国語学会

- (2) 井出克子2005.

「量詞と形容詞の共起関係について」

『中国語学252』:164-179頁。日本中国語学会

参考文献

- (1) 三瀧正道2004.

『時事中国語の教科書2004年度版』:23頁。朝日出版社

- (2) 小野秀樹2003.「中国語入門講座…形容詞Ⅱ」

『中国語』:24-25頁。

内山書店

- (3) 相原茂1996.「第29課動量・時量・差量」

『中国語の文法書』:277-279頁。同学社

- (4) 劉月華1996.「第3章数詞と量詞」『現代中国語文法総覧』:117-121頁。くろしお出版